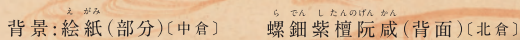


The 73rd Annual Exhibition of Shōsō-in Treasures

「協力」NHK奈良放送局、大阪市高速電気軌道、奈良交通、奈良テレビ放送、日本香堂、仏教美術協会、読売テレビ



奈良国立博物館
NARA NATIONAL MUSEUM

〒630-8213 奈良市登大路町50番地 ハローダイヤル：050-5542-8600

先着順

当館チケット売場での販売はありません。

・本展は入替制ではありませんが、展示会場内の混雑を避けるため、入場後1時間程度を目処に鑑賞をお願いいたします。



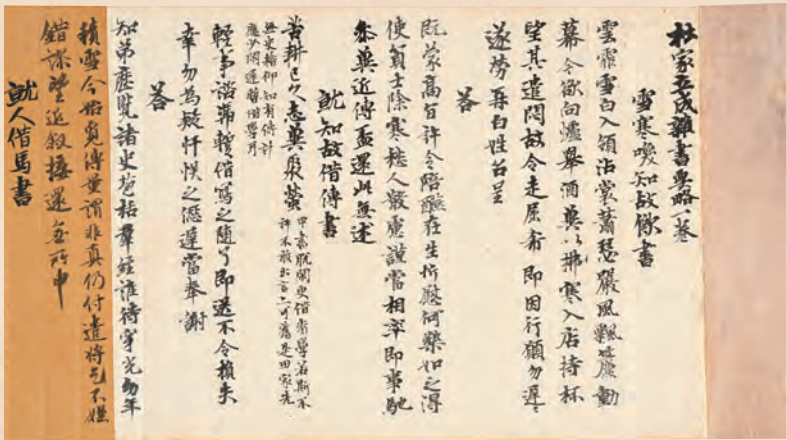
正倉院展

正倉院は奈良時代に建立された東大寺の倉庫で、聖武天皇の遺愛の品々を中心とする約9000件の宝物を今に伝えます。

正倉院展は、これら正倉院宝物の中から毎年60件ほどを選び公開する展覧会で、今年で73回目を迎えます。

今年も、楽器、調度品、染織品、仏具、文書・経巻など、多彩なジャンルの品々が出陳されます。中でも、奈良では25年ぶりの公開となる螺鈿紫檀阮咸(円い胴の絃楽器)や、彩色文様が目にも鮮やかな漆金薄絵盤(蓮華形の香炉台)など、正倉院を代表する宝物が出陳されるのは注目されます。

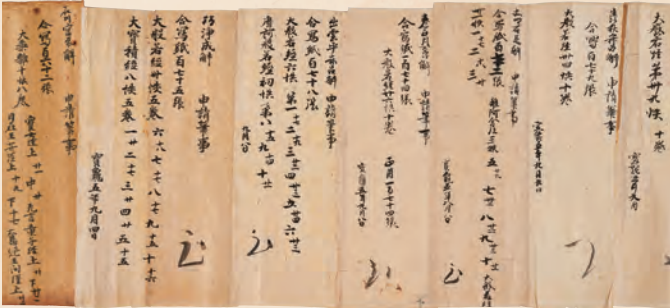
一方、近年に本格的な調査が行われた筆をはじめ、墨・硯・紙といった文房具が多数出陳され、「書く」という営みから奈良時代を見つめていただく機会にもなります。



杜家立成(巻首)〔北倉〕



白瑠璃高坏〔中倉〕



続々修正倉院古文書第三十二帙 第一巻
【奉写一切経所経師筆手実帳】(部分)〔中倉〕



長斑錦御帟〔北倉〕



十二支彩絵布幕(龍図)〔中倉〕



漆金薄絵盤〔南倉〕



ふで筆〔中倉〕



螺鈿紫檀阮咸〔北倉〕



花鳥背八角鏡〔北倉〕



曝布彩絵半臂(正面)〔南倉〕